

# みんなのいえ便り

No. 2

有限会社くさなぎ農園就労継続支援A型事業所  
NPO法人サポートセンター・えん

発行：2010年7月7日

〒080-2336

北海道帯広市八千代町東1線180番地

有限会社くさなぎ農園

NPO法人サポートセンター・えん

Tel・Fax 0155-60-2012

う ん ど う か い さ ん せ ん

## 運動会参戦!

5月30日(日)晴天の下、地域の保育所・小学校・中学校の運動会が行われました。みんなのいえの5名も「一般の部100メートル走」に参戦。3日前から運動会の話題で盛り上がっていたみなさん。当日も念入りにストレッチしたり、順位を予想したり、ワクワクしながらスタート地点へ。ピストルの音と同時に飛び出したのは運動会大好きKさん。後ろから迫るYさん・Sさん。それに追いつくHさん。このままKさんの独走かと思いきや、3分の1地点でYさん・Sさん・Kさんが団子状態に。結局若さを武器にYさんが1着でゴール! 応援にも力が入りました。Mさんは地域の方と走りましたが、学生時代陸上をやっていただけのこととはあり、スムーズな走りで見事2着でゴール! しばし仕事を離れ、地域の方々と盛り上がった一時でした。



## はいっ! チーズ

みんなそろって写真を撮る機会はなかなかないので、よい記念になりました。Oカメラマン、どうもありがとうございました。

### みんなのいえ行事予定

- 5月 ちいきうんどうかいさんか 地域運動会参加
- 6月 じっしゅうう い 実習受け入れ
- 7月 じっしゅうう い 実習受け入れ
- 7月 なかさつないこうとうようごっこう 中札内高等養護学校  
どうそうかいいつぱくりよこうさんか 同窓会1泊旅行参加
- 8月 こうたい ほんやす 交代で盆休み
- 8月 りじちょうはい ボウリング理事長杯  
& しんぼくかい 親睦会
- 12月 ぼうねんかい 忘年会

# 見学の感想をいただきました！

4月に見学に来て、6月3日の実習をしました。  
まじめにいろいろ仕事をしてくれました。



平成4年4月2日、僕は畑作農家の長男として生まれました。僕の実家は豊頃町でピート、馬鈴薯、豆類、小麦を中心に経営をしていて、十勝型畑作農業で耕作面積は広いです。小さなときから手伝いをするたびに祖父からは、「うちの五代目しっかりしろ」と何度も言われてきました。僕はなんとなくいつかは農家の後を継ごうと思いました。ただ、僕は広汎性発達障害というコミュニケーション障害があり、実際に大規模農業の後継者としてなることができるのか今は分かりません。

今年の春休みに僕は母からある養鶏農家があることを聞いて見学に行くことになりました。ここは家族労働ではなく、有限会社として人を使っています。養鶏場という所に見に行くのは初めてで見るものが珍しいです。事業主さんの話では鶏のエサやり、卵をとる作業、卵をふいてきれいにする作業、卵をパックにつめる作業、すべて手作業でやっていて従業員の人達がやっています。また、エサ作り、鶏糞作りもしていて、販売しています。それに、その従業員の人達は僕と同じように障害を持っていたり、人間関係がうまくいかず職場を移って来た人が養鶏場で働いていました。養鶏場で働いている人が僕の目には生き生きと仕事をしているように見えました。敷地内には共同で生活するケアホームもあります。「ケアホーム」とは、将来自立して生活することを目標に、食事や生活の助けを受けながら共同生活をしている場です。一部屋ずつ個人のスペースがあって、食事では回らんをすることが出来ます。休みの日は当番制で食事を作っています。事業主さんは養鶏場はみんなのために作りあげた農園だと話してくれました。

将来、僕は養鶏場で働けたらたくさんの方のことを学んでいきたいと考えました。それから就農をして自立するために計算を覚え、すべての農作業技術を覚え、人との仲間をつくり助け合う事など、すべての経験を積む事です。

養鶏場の事業主さんは言いました。「働きたいけど働く場所がない障害の人がたくさんいる。僕はそういう人を助けたいからこの養鶏場を作った」。その話を聞いて僕は感動しました。僕はこれからも、これからも農業の勉強をしていかなければいけない立場ですが、将来障害者の方々に何か出来る事があるか考えてみました。障害のある方が農業にたずさある仕事につくとき、いったいどんな環境ならスムーズに仕事が出来て、気持ちよく生活ができるのか。まず、やっぱり側が、その人をよく理解し、得意なこと苦手なことをよく知っておくことです。

我が家の経営は機械作業を中心とした仕事が多分です。もし障害のある人を雇用するとき手作業を中心とした作物を取り入れていかななくてはなりません。花や野菜など福祉団体の人が販売している所をよく見かけますが、それは障害のある方が作った物で(他)は経営の中に新しい分野の作物を取り入れることはお金もかかる、始めは失敗することもある、それはたぐいの要気が必要です。僕が自立して農業をやることが出たら、僕と同じような悩みを持った人達が役に立つこと、助けていくことを考えていけば、そうやっていけばきっとみんなが豊かに暮らしていける社会になるのでは、僕は思っています！！

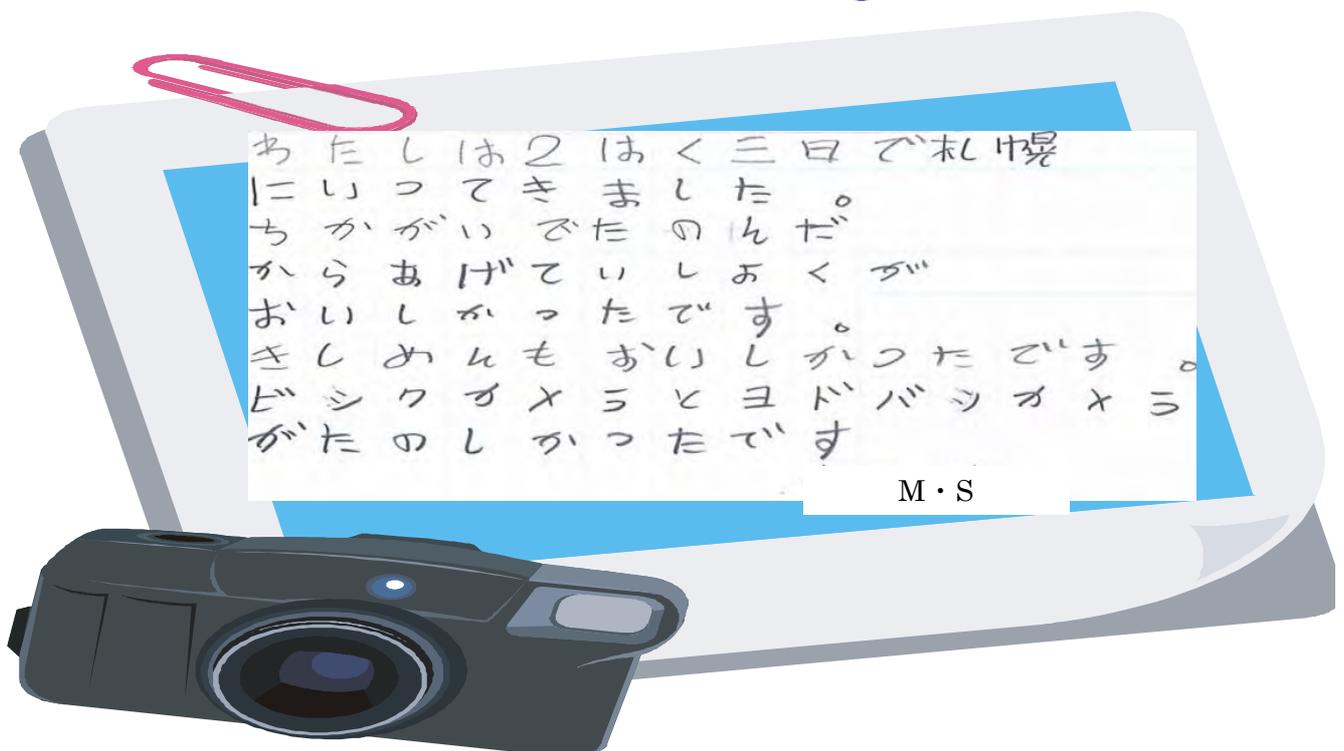
が  
立

みんなのいえでは朝<sup>ちょうしょく</sup>食と夕<sup>ゆうしょく</sup>食を、くさなぎ農園<sup>のうえん</sup>では昼<sup>ちゅうしょく</sup>食<sup>ようい</sup>を用意していますが、  
利用者<sup>りようしゃ</sup>の皆<sup>みな</sup>さんに一番<sup>いちばん</sup>好きなメニュー<sup>とつげき</sup>を突撃インタビューしてみました。

恵子<sup>けいこ</sup>さんと祐子<sup>ゆうこ</sup>さんの愛情<sup>あいじょう</sup>たっぷりごはんはどれもおいしくて、みんな『一番<sup>いちばん</sup>』  
を<sup>き</sup>決めるのに<sup>くろう</sup>苦労していました。



## ぶらりひとりたび



# スタッフ日記

農業が就労継続支援A型事業所として、私には職に就いて指導員として、一年三ヶ月が過ぎました。この一年が過ぎると思えば、彼らに自分の意を伝えることの難しさがあります。一人一人への説明の仕方は今も試行錯誤を繰り返しています。私からの一方的な指示や指導だけでなく、彼らからいろいろなことを聞き返せるようにすること、私が間違っていたり、指摘できるような声かけを、私が間違っていないようにしていき、彼らに声をかけて、話をかけやすい関係を作りたいと思っています。

一方的な指示に従うのではなく、彼ら自身に仕事を任せられる自覚を持ってもらい、積極的に取り組んで欲しいと思っています。



職業指導員



ねえねえ知ってる？くさなぎ農園の玄関前が舗装されたんですって！

まあ！これからは雪解け時期も毛皮が汚れないわね

